



一般社団法人日本全身咬合学会 第37回公開講座

メインテーマ

口腔機能と全身の健康との関わり



歯科が支える地域高齢者の「食べる力」と介護予防

後藤崇晴 先生（徳島大学大学院医歯薬学研究部）

本講演では、地域高齢者の「食べる力」に焦点を当て、歯科医療がオーラルフレイルおよび口腔機能低下症の早期発見・介入を通じて、フレイル進行や要介護状態の予防に果たす役割を考察する。また、高齢者の咀嚼と脳機能活動、ならびに生きがい（Ikigai）や社会的フレイルに関する我々の研究成果を提示しながら、噛むこと・味わうこと・人と食べることを含めた「食べる力」を支える歯科医療の意義を提示し、介護保険制度や多職種連携を踏まえた地域包括ケアシステムにおける歯科の新たな役割と今後の展望について議論したい。



口腔機能と全身の健康 -栄養と活動、そして足元への視点

猪原 健 先生（猪原「食べる」総合歯科医療クリニック）

口腔機能の低下は、咬合・咀嚼の衰えを通じてタンパク質などの摂取を妨げ、フレイル・サルコペニアへと連鎖する。だが食べるだけではなく、全身の活動性を支える「足」への視点も欠かせない。足底接地は嚙下を左右し、口腔と足は、小さな面積で大きな負荷を担いながら見過ごされる点でも似ている。本講演では、口腔から栄養・活動性・足までを貫く視座を示し、歯科が全身を診る入口となる可能性を、多職種連携の実践とともに考えたい。



咀嚼と全身の健康

橋本和佳 先生（愛知学院大学歯学部）

栄養摂取は生命維持に必須ではあるが、咀嚼を伴わない栄養摂取で健康を保つことが困難であることは直感的に納得できる。そこで咀嚼を伴う栄養摂取と咀嚼を伴わない栄養摂取が全身の健康へ及ぼす影響について、特に糖代謝を中心に考えてみた。今回は、健全な咀嚼機能の維持回復が、全身の健康、特に肥満や糖尿病、メタボリックシンドローム等のインスリン分泌能と密接な関連のある生活習慣病の予防や治療にはたす役割について提示したいと思う。

【開催日時】 2026年(令和8年) 8月30日(日) 10:30~16:00 (予定)

【開催形式】 Zoomを用いたWeb開催

【参加費】 会員(医師・歯科医師) 6,000円、(その他の医療従事者) 5,000円、(学生) 2,000円
非会員(医師・歯科医師) 15,000円、(その他の医療従事者) 7,000円、(学生) 4,000円
*その他の医療従事者：歯科技工士、歯科衛生士、歯科医師・医師の退職者

【申込方法】 参加を希望される方は、参加費を下記振込先にお振込みいただいた後に日本全身咬合学会ホームページ (<https://jaoh.jp>) の第37回公開講座に掲載されている参加登録フォームから参加の申し込みをしてください。(参加申込締切2026年7月31日)

【振込先】 ● 三菱UFJ銀行 駒込支店(店番号061)、預金種目:普通預金、口座番号:0018925
口座名義:一般社団法人日本全身咬合学会 代表理事 渡邊 誠

● ゆうちょ銀行 口座記号・番号:00140-4-346342、他銀行からの振込みは預金種目:当座預金
支店名(店番):〇一九店(019)、口座番号:0346342、口座名:一般社団法人日本全身咬合学会

【連絡先】 お問合せがある場合は、メール (office@jaoh.jp) にご連絡ください。

※ 本公開講座のご受講により、認定医新規申請および更新の単位を8単位取得できます。

※ 非会員の方は、新規入会されますと、入会金、年会費、参加費を含め、正会員では14,000円、準会員では5,000円で本講座を受講できます。これを機会に入会していただければと思います。